

平成27（2015）年川崎市10大ニュースについて

1 目的

一年を振り返り、市民の視点から市政や市全般にわたる動きがどのように捉えられているかを把握し、今後の市政運営の参考とするとともに、市の取組や魅力ある資源を発信することで市のイメージアップを図ることを目的としています。

2 10大ニュースの決定方法

平成27年に市内で発生した事柄について、あらかじめ選定した候補項目への投票募集を行い（自由記載も可）、得票数の多い順に1番から10番までを「平成27（2015）年川崎市10大ニュース」として決定しました。

3 投票募集実施期間

11月27日（金）～12月13日（日）（17日間）

4 投票状況

		※昨年
(1) 区役所、市民館、図書館等における投票	896人	(931)
(2) ホームページでのインターネット投票	1,039人	(1,159)
合 計	1,935人	(2,090)

5 プレゼント

プレゼントの当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
(年明け以降順次発送予定)

6 その他

当該結果は、川崎市インターネットホームページに掲載

<添付資料>

- 資料 1 平成27（2015）年川崎市10大ニュースの概要
- 資料 2 過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について
- 参考資料 平成27（2015）年川崎市10大ニュース投票用紙

【問い合わせ先】 川崎市総合企画局都市経営部企画調整課
電話 044-200-2025

平成27(2015)年川崎市10大ニュース投票結果

1位	川崎区が多摩川河川敷で中学生死亡事件が起きる	1221 票
2位	さいか屋川崎店が閉店	954 票
3位	川崎区日進町の簡易宿所で火災が発生	737 票
4位	大久保嘉人選手 史上初Jリーグ3年連続の得点王に輝く	694 票
5位	川崎アゼリアがリニューアルオープン	645 票
6位	川崎市の人口が政令指定都市で京都市を抜いて7位に	583 票
7位	川崎富士見球技場(富士通スタジアム川崎)、等々力陸上競技場のメインスタンドが完成	451 票
8位	JR南武支線に新たに設置する駅名が「小田栄駅」に決定	443 票
9位	保育所待機児童数がゼロに	434 票
10位	「スター・ウォーズねぶた」も参加 日本最大級のハロウィンイベント「カワサキハロウィン」が今年も大盛況	428 票

(11位から20位までは、次のとおり)

11位	藤子・F・不二雄ミュージアムが4周年を迎え、来館者数が200万人を超える	412 票
12位	犬の殺処分数ゼロを2年連続で達成	374 票
13位	台風18号で避難勧告を発令 28万世帯62万人に	369 票
14位	幸区役所新庁舎がオープン	335 票
15位	橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群が川崎市初の国史跡に	281 票
16位	富士通フロンティアーズがアメリカンフットボール日本選手権で優勝	266 票
17位	大型農産物直売所「セレサモス宮前店」がオープン	259 票
18位	小児医療費助成事業の通院助成対象を小学校2年生まで拡充	242 票
19位	羽田連絡道路の整備方針が決定	196 票
20位	ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)が始動	195 票

平成27（2015）年川崎市10大ニュースの概要

1位 川崎区が多摩川河川敷で中学生死亡事件が起こる

川崎区が多摩川河川敷において、市内在住の中学1年生が暴行を受け、亡くなるという大変痛ましい事件が発生しました。川崎市は、この事件を重く受け止め、このようなことが二度と繰り返されることのないよう、全庁的な庁内対策会議を設置し検討を重ね、再発防止に向けた総合的な対策をまとめた最終報告書を8月25日に公表しました。

2位 さいか屋川崎店が閉店

昭和31年の開業から59年間にわたって川崎駅東口の顔として長く地域に親しまれてきたさいか屋川崎店が5月末をもって閉店しました。

3位 川崎区日進町の簡易宿所で火災が発生

5月17日、川崎区日進町にある簡易宿所2棟が全焼し多数の死傷者が出ました。川崎市は、原因究明や再発防止に加え、市役所における各局の連携を強固にする観点から、早期に事故対策会議を立上げました。市は、市民の安全性確保に向けた取組を着実に実施し、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

4位 大久保嘉人選手 史上初Jリーグ3年連続の得点王に輝く

昨年、J1リーグで初の2年連続単独得点王に輝いた川崎フロンターレの大久保嘉人選手が、今年もゴールを量産して、Jリーグ史上初の3年連続得点王の偉業を達成しました。

5位 川崎アゼリアがリニューアルオープン

JR川崎駅東口の地下街「川崎アゼリア」が7月31日にリニューアルオープンしました。リニューアル第1弾となる今回は、川崎駅東口で初めてとなる大規模食物販ゾーン「DERICHKA（デリチカ）」が整備され、リニューアルオープン当日は、多くの買い物客で賑わいました。

6位 川崎市の人口が政令指定都市で京都市を抜いて7位に

川崎市の4月1日現在の人口が146万6444人となり、京都市の人口を上回り、政令指定都市で全国7位に順位を上げました。2030年には152万人を超えることが見込まれています。

7位 川崎富士見競技場（富士通スタジアム川崎）、等々力陸上競技場のメインスタンドが完成
川崎富士見球技場（富士通スタジアム川崎）と等々力陸上競技場のメインスタンドが完成し、それぞれ完成記念式典を行いました。市は、2つの施設を拠点とし、「スポーツのまち・かわさき」を市内外にアピールし、魅力あるまちづくりを推進していきます。

8位 JR南武支線に新たに設置する駅名が「小田栄駅」に決定

今年1月に、「鉄道」と「まち」を共に発展させるため、東日本旅客鉄道株式会社が自治体との間で初となる包括連携協定を川崎市と締結しました。同協定に基づいて設置するJR南武支線川崎新町・浜川崎駅間の新駅の名称が、地域の方々による駅名投票の結果を踏まえて、「小田栄駅」に決まりました。新駅「小田栄駅」は来年3月に開業予定です。

9位 保育所待機児童数がゼロに

川崎市の保育所待機児童数が、統計がある平成12年度以降初めてゼロとなりました。市は、待機児童対策を最重要課題の一つに掲げており、これからも子どもを安心して産み育てられるまちをめざして取組を推進していきます。この取組の中で、横浜市と待機児童対策の連携協定を締結し、協力して取組を進めたことが、先進的な取組として評価され、10月にプラチナ大賞審査委員特別賞を受賞しました。

10位 「スター・ウォーズねぶた」も参加 日本最大級のハロウィンイベント「カワサキハロウィン」が今年も大盛況

19回目となる「カワサキハロウィン2015」が開催され、10月25日のパレードでは、川崎駅前をスタート・ゴールとした周回コースを、コースの片側全車線を規制して仮装者がパレード行進しました。また、映画スター・ウォーズの最新作公開に向けて、ルーカスフィルム公認の「スター・ウォーズねぶた」の出発式やパレードなど映画スター・ウォーズの関連イベントも行われ、沿道の12万人の観客がパレードを楽しみました。

過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について

- ◇ 平成26（2014）年 総投票者数 2,090人
- 1 川崎マリエン 日本夜景遺産に認定
 - 2 南武線の輸送力を強化した新型車両の運行開始
 - 3 4月に『ららテラス』11月に『グランツリー』など武蔵小杉駅周辺に大型商業施設が次々オープン
- ◇ 平成25（2013）年 総投票者数 2,134人
- 1 武蔵小杉駅直結の再開発ビルに『市立中原図書館』や商業施設がオープン
 - 2 『福田新川崎市長』が誕生
 - 3 震災の影響でつり天井が脱落した『ミュージア川崎シンフォニーホール』が待望のリニューアルオープン
- ◇ 平成24（2012）年 総投票者数 2,614人
- 1 ドラえもん誕生前100年、藤子・F・不二雄ミュージアム開館1周年で特別住民票発行、1週間で9万ダウンロード
 - 2 最新鋭のプラネタリウムを導入した『かわさき宙（そら）と緑の科学館』がオープン
 - 3 夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに待望の赤ちゃん誕生
- ◇ 平成23（2011）年 総投票者数 1,878人
- 1 『ドラえもん』などの原画を展示する『藤子・F・不二雄ミュージアム』が開館
 - 2 3月11日、東日本大震災発生、交通機関の乱れや計画停電など市内でも大きな影響
 - 3 東日本大震災により『ミュージア川崎シンフォニーホール』に被害
- ◇ 平成22（2010）年 総投票者数 2,084人
- 1 JR横須賀線武蔵小杉駅が開業
 - 2 東扇島東公園「かわさきの浜」で潮干狩りが解禁
 - 3 バーベキュー利用有料化の社会実験を実施